

1 概況

海水温は10月に入り急激に低下し、一時は平年を下回りましたが、その後は停滞気味に推移し、直近は平年と差がなくなりました。ノリ網の張り込みは、知多西岸地区の小鈴谷、師崎を除く知多東岸地区及び東三河地区で完了しました。一方、その他の地区はこれから開始または本格化する見込みです。栄養塩は東三河地区の一部を除く全域でやや少ないまたは少ない状況でした。植物プランクトンは突出して多くみられる地域はありませんでした。気象庁の1ヶ月予報によると、向こう1カ月の気温は高めに推移しそうです。潮位はこのところ乱高下を繰り返し安定しません。水温や潮位変動に注意し、ノリ芽の状態を観察しながら干出を与えるなど健全な種網確保を心がけてください。

2 気象・海況

<水温> 10月18日			<水温> 10月19日			<潮位偏差> 10月18日		
1～3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	21.5 °C	漁生研 (-3.0m)	10時水温	22.2 °C	名古屋港	5日平均*	+8 cm
	平年差	±0 °C		平年差	±0 °C		偏差	+1 cm

※10月14日～18日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	北中部: やや少ない、南部: やや少ない～少ない	なし	植物プランクトンは散見～少ない
知多東岸地区	少ない	なし	植物プランクトンは散見～少ない
西三河地区	やや少ない～少ない	なし	植物プランクトンは散見～少ない
東三河地区	多い～やや少ない	なし	植物プランクトンはほとんどいない

※基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い: 121～、やや多い: 81～120、やや少ない: 41～80、少ない: ～40

※植物プランクトン基準(単位: 細胞/mL) 多い: 10,000～、やや多い: 5,000～10,000、少ない: 1,000～5,000、散見: 100～1,000、ほとんどいない: ～100

<気温動向の予測> (気象庁予報より 予報期間: 10月19日～10月25日)

今後1週間	気温は、期間の始まりで高くなるものの、寒気の影響で週末は一転して低くなり、その後、期間の後半にかけては平年並みとなるでしょう。
-------	---

3 養殖状況

地区	張り込み		養殖状況
	開始	終了	
知多西岸地区	10月15日	小鈴谷は16日に完了	野間、鬼崎、豊浜は順次張り込みを行う予定
知多東岸地区	10月13日	篠島、日間賀島及び大井は17日に完了	師崎の張り込みは50%完了
西三河地区	10月19日予定	-	アオノリは海上や陸上での種付けや張り込みが行われている
東三河地区	10月17日	10月19日に完了	当初は25日以降の張り込み予定を17日に前倒し

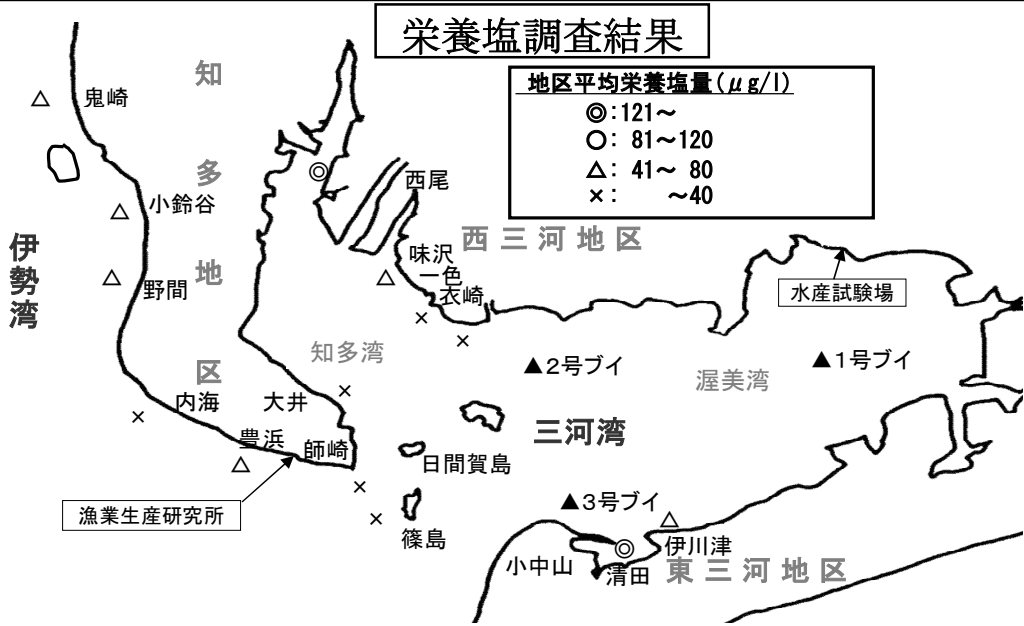
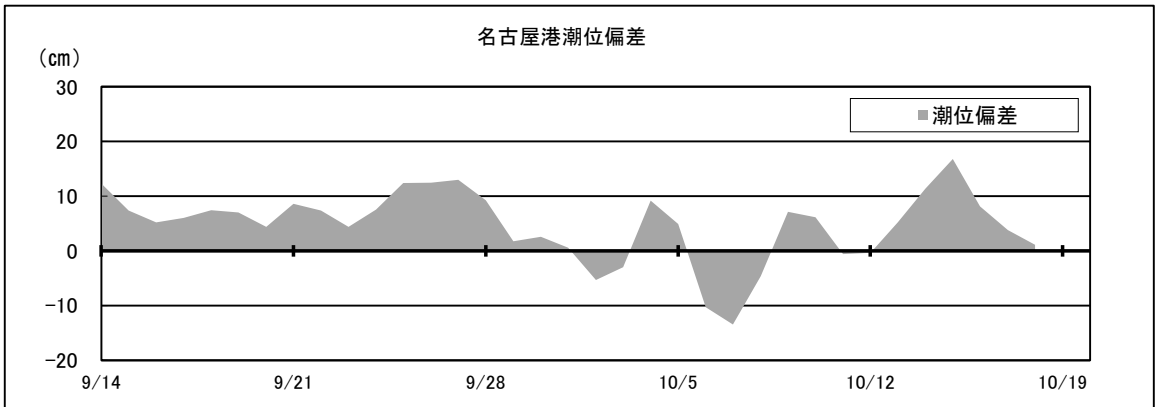
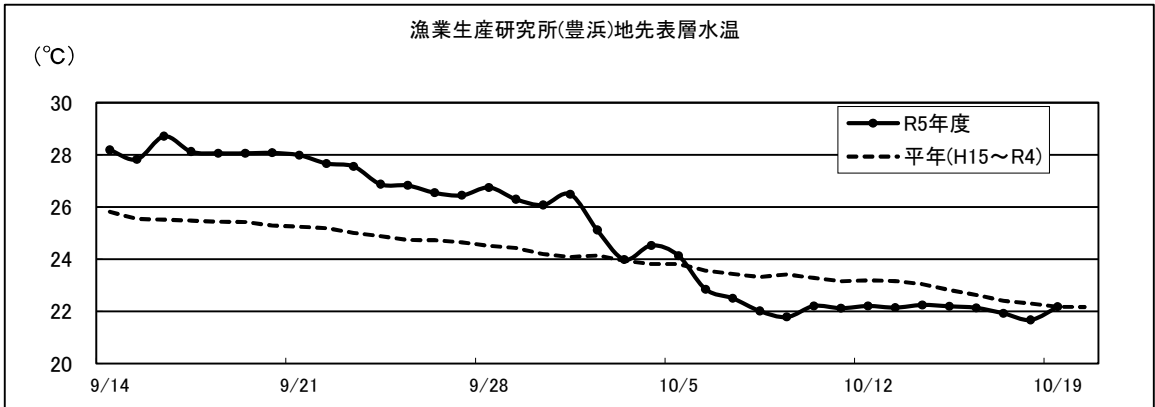
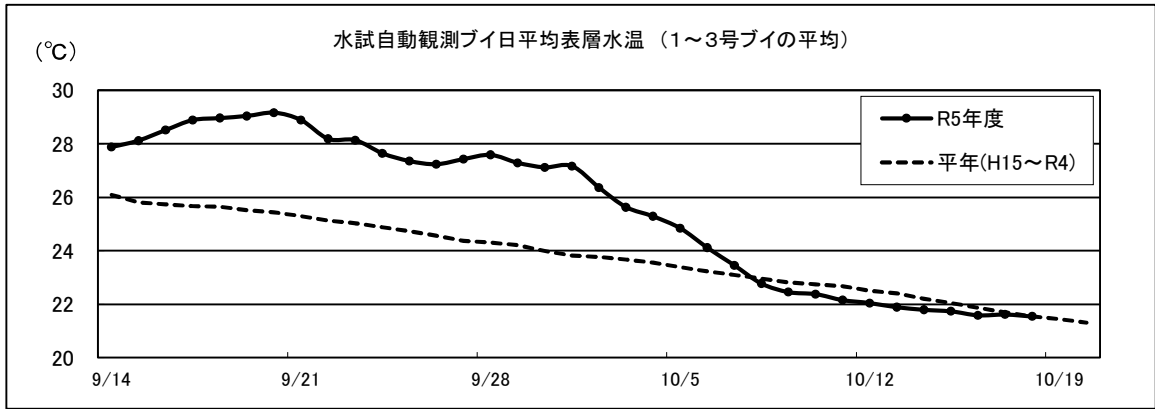
4 今後の管理

- ① 水温やプランクトンの動向に注意し、ノリ芽の状態をよく観察して、適切な網管理を行うこと。
- ② 潮位の変動や気象海況に注意し、適正な干出を行うこと。また、干出は気温が上がる前の早朝に行うこと。
- ③ ノリ芽が目視された網は早期展開を行うこと。また、網洗いを励行して二次芽の付着を促進すること。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
次回は10月26日(木)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査日: 知多、西三河: 10月19日 (木)、東三河: 10月18日 (水)
 調査機関: 知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会